

T.M.P. NEWS

VOL.60 2022.冬

T.M.P.

新年あけましておめでとうございます。

皆様にとりまして、本年が一層健やかな年になることを心よりお祈り申し上げます。

さて、今年の干支は壬寅(みずのえとら)。インターネットで調べますと干支の組み合わせの39番目で、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年だそうです。今年こそ、コロナという災いが雪解けし、当たり前前の日常が戻ってくることを願うばかりです。

去年は東京オリンピックが開催されましたが、1年延期の影響で、年明け早々、2月4日より北京冬季オリンピックが開催されます。ウイグルの人権問題に揺れる同大会ですが、西側諸国は選手派遣をボイコットするのではと思いきや、各国の要人を大会に派遣しない外交ボイコットという中途半端な対応にとどまりました。主張はするものの、決定的に習近平の顔に泥を塗らないあたり、イデオロギーで対立しても、経済では密接につながっている様子が見え隠れします。

また、その中国は近い将来米国を経済規模で追い越し、米国との覇権争いを優位に進めるとの見方がある一方で、そのけん引役である、巨大ネット企業に中国当局が自ら規制を掛け、成長を阻害しています。一人当たりのGDPが日本の4分の1の国で、経済成長より、共産党の体制維持を優先して、国は内部崩壊しないのか、中国は覇権どころか、国内に大きな爆弾を抱えて、迷走しているように思えます。日本を取り巻く情勢は複層的に絡み合い、私ごとときには到底理解不能です。

ある方が、自分が将来思い描いた事以外が起こるのが人生、と仰ってくださいました。良きことも、悪きことも、降りかかることのすべてが人生に意味があると思ひ定め、今年1年を過ごしていきたいと思ひます。

株式会社東海メディカルプロダクツ

代表取締役社長 筒井康弘



トヨタ産業技術記念館 企画展「いのちと向き合った医師たちの挑戦」講演会



2021年11月20日、名古屋市にあるトヨタ産業技術記念館にて開催された企画展「いのちと向き合った医師たちの挑戦～江戸期の医療とモノづくり～」の関連イベントとして筒井会長が講演を行いました。

この企画展は、トヨタ自動車が所有している江戸時代中期～明治時代初期の科学技術資料である「トヨタコレクション」の展示企画で、「からくり」「測量・天文」「銃・大砲」「医療」「絵画

・書画」「工芸」「生活」の6分野の内、今回は「医療」をテーマに10月2日から12月19日まで開催されました。

当日は新型コロナウイルス感染予防に配慮し、講演会では座席間隔の確保を行われましたが、予定していた座席数よりも多くの方が聴講されていました。講演では、医療の進歩の背景にある「救いたい」という強い思いと、それに伴う「チャレンジと犠牲」の世界と日本での事例、そして当社を立ち上げた経緯をお話いたしました。また、講演会場には当社製品を展示するブースを設けていただき、講演後には多くの方にお集まりいただきました。



トヨタ産業技術記念館
山口専務理事ご夫妻

名古屋大学 博士課程教育推進機構 トップリーダートーク



2021年12月8日、筒井会長が名古屋大学で客員教授を務める「博士課程教育推進機構 トップリーダートーク」にて、名古屋大学特任教授 足立守先生との対談方式での講義を行いました。

2012年(平成24年)度から開始されたリーダー養成プログラムの一つであるPhDプロフェッショナル登龍門は、各界の指導的立場にあるトップからリーダーシップのあり方等について学ぶトップリーダートークというプログラムがあり、以来、選抜されたリーディングプログラム生 延べ90人(内留学生12カ国49人)を対象に実施してきました。



リーダー教育の効果大であるトップリーダートークは院生だけでなく、文部科学省や外部評価者からも評価が高く、今年度からはさらに名古屋大学の院生全体に学んでもらうため博士課程教育推進機構(東海国立大学機構全体)に運営を移し、その第3回目に筒井会長が登壇いたしました。

第59回日本人工臓器学会大会「Yoshimi Memorial T.M.P. Grant」



2021年11月25日～27日、ヒルトン東京ベイにて第59回日本人工臓器学会大会(大会長:千葉大学医学部心臓血管外科 教授 松宮護郎先生)が開催されました。この人工臓器学会には、民間の協力を得て将来発展が期待される日本発の全く新しいidea、萌芽的研究を掘り起こし、これらの研究に対して助成を行う制度(Grant)があります。通常は会社名を冠する Grantですが、特別に許可をいただき、夭折した筒井夫妻の次女の名前を冠し、「Yoshimi Memorial T.M.P. Grant」として、1996年から開始して今年で26回目です。

総会・評議員会の場で表彰式が執り行われ、「セルファイバーを用いた次世代低侵襲再生医療:血管内幹細胞治療の開発」を研究されている東京慈恵会医科大学 福島宗一郎先生への表彰を行いました。

第37回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術集会(JSNET2021)



第37回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術集会(大会長 福岡大学筑紫病院脳神経外科 福岡大学大学院脳卒中予防・地域医療学講座 東登志夫先生)が2021年11月25日～27日の3日間にわたり、福岡国際会議場ならびに福岡サンパレスにて開催されました。今回も昨年に引き続き、現地会場とWEBでの聴講によるハイブリッド形式での開催となりました。

当社は現地会場にて新製品「Guidepost®」「GREACH®」をはじめ日頃よりご提供させていただいております「OPTIMO EPD®」「Carnelian MARVEL® Non-Taper」等の機器展示をさせていただき、多くの先生方にお越しいただきました。

また、26日のアフタヌーンセミナーにて「アクセスを制するものは治療を制す-安定性と遠位到達性の両立-」というテーマにて

座長に昭和大学藤が丘病院 津本智幸先生、演者に富永病院 木本敦史先生・国立循環器病研究センター 佐藤徹先生の両先生方に「Guidepost®」及び「GREACH®」の、AVM塞栓やコイル塞栓での活用法等について発表していただき、多くの先生方にご来場いただき、またWEBでも多くの方にご聴講いただきました。今後も先生方そして何より患者様のお役に立てる製品の開発・提供を、歩みを止める事なく継続して参りたい所存でございます。(竹川 記)



謹んで新春のお慶びを申し上げます



櫓門



傘寿のお茶会(旧茶室)



旧茶室



櫓門 裏



新本宅と表庭



新茶室外観



新茶室



中庭

新型コロナウイルス感染者数は落ち着いてきましたが、新しい変異株が懸念されている状況であることから、密になることを避け、お客様は呼ばずに身内だけで、私の傘寿のお茶会を昨年12月11日に行いました。茶室のある名古屋本部は、ちょうどコロナ禍が始まる少し前から約3年かけて京都の数寄屋大工・中村外二様の設計・施工による耐震改装工事を行い、昨年11月に完成したばかりです。

まだまだ気が抜けない状況が続いておりますが、それでも少しずつ明るい兆しが出始めていると感じます。落ち着きましたら新しくなった名古屋本部に皆様をご招待し、お茶など差し上げたく存じております。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

筒井 宣政